

## 講座情報

～きたかみのまちづくり 今から始める、誰でも学べる～ まちスタ塾

### 「ワラタネスクエアという居場所 ～生きづらさから始まるまちづくり～」

生きづらいってどんなこと？  
居場所って何をやる所？  
みんなが生きやすい町って？  
みんなで対話しながらまちづくりについて考えましょう。



○日時：2023年 3月12日(日)

午後2時から3時30分まで

○会場：北上市生涯センター 第1学習室  
(北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ3階)

○対象：どなたでも参加できます

○参加料：無料

○申し込み：WEB申込フォーム

<https://forms.gle/XSxBQ+9wuQBe6iGV9>

からお申し込みください。

※右記QRコードからも申し込み  
フォームにつながります



○お問合せ先：

特定非営利活動法人いわてNPO-NETサポート

☎0197-61-5035 ✉shimin@npo2000.net

○講師：

後藤 誠子 氏



笑いのたねプロジェクト代表  
NPO法人ワーカーズコープ北上  
笑いのたね事業所所長

次男の不登校ひきこもりをきっかけに自分にはかできないことがあると気づき、生きづらさを抱えた人たちと地域をつなぐ活動を始める。現在は不登校ひきこもりの親としての講演やコミュニティFMでの発信、様々なイベントの企画、誰でも来れる居場所『ワラタネスクエア』の運営などを行っている。『世界一受けたい授業』『ウワサの保護者会』などメディア出演多数。

地域づくり・地域貢献・市民活動などのお問い合わせは、  
北上市市民活動情報センターへ！

イベント、助成金情報はブログやfacebookをご覧ください。

ブログ

facebook



(受託者) いわてNPO-NETサポート

北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ4階

☎0197-61-5035 ✉shimin@npo2000.net



## 市民団体 の活動

# 日本野鳥の会 北上支部

## バードカービング（鳥の木彫り）講座

2月号では日本野鳥の会 北上支部さんの活動の一部をご紹介します。  
監事の鈴木さんにお話をうかがいました。

### ■活動内容

日本野鳥の会北上支部は、1959年に発足した会で、主に探鳥会（自然観察会）を中心に活動しています。

- 5月 憩いの森整備と観察会  
夏の渡り鳥観察会（西和賀町）
- 7月 憩いの森水場整備と観察会
- 10月 憩いの森整備と観察会
- 11月 冬の渡り鳥観察会（西和賀町）
- 1月 水鳥調査と冬鳥の観察会
- 2月 オオワシ・オジロワシ調査と観察会

### ＼活動の様子をご紹介します／

2月18日、みちのく民俗村で開催されたバードカービング講座（初級編）におじゃましました。

この講座は、みちのく民俗村が主催し、日本野鳥の会北上支部が共催するもので、この日は全6回のうちの5回目。小学生からベテランさんまで計16名が参加していました。

今回の講座で製作するのは、森の妖精といわれるシマエナガです。

白くてふわふわな冬毛とつづらな瞳がかわいい♡



講師は、日本野鳥の会北上支部所属の鈴木清明さん。

彩色の過程では、羽毛のふんわり感や立体感を表現するためのコツを実演を交えて指導されていました。

筆先の一本一本を使って丁寧に塗り進めることが彩色の要とあって、皆さん、作業に集中！

参加者からは「難しいけど楽しい」「熱中してやっているの、時間があつという間」といった感想がありました。

鈴木さんは「鳥が棲んでいる環境も含めて精巧に再現し、それを観察するのがバードカービングの醍醐味。自分のペースでじっくり時間をかけて製作し、思いのたけを表現してもらえれば」と語っていました。

取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

### ■日本野鳥の会 北上支部

事務局長：征矢和宣（そや かずのり）  
連絡先：090-6520-1027

活動にご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



企業・団体の  
地域貢献活動

## 株式会社connect

「つながり」を大切にした施設づくり

2月号では株式会社connectさんの地域貢献活動をご紹介します。

代表取締役でグループホーム「おおきな木」施設長の黒澤さんにお話をうかがいました。

### ■飯豊小学校前での下校時見守り隊



2021年4月から、グループホーム「おおきな木」の入居者1名が職員とともに、飯豊小学校前の横断歩道で交通安全を呼びかける声かけ活動をしています。

活動開始時、株式会社connectの黒澤さんは、小学校との協議の中で「工業団地からのダンプ車両がかなりのスピードで往來するので心配だった」というお話を受けたそう。

隣接の陸中飯豊郵便局にも協力を依頼し、局内の駐車場に車両を設置。子どもたちとドライバーの交通安全意識の向上に寄与しています。

黒澤さんは、「認知症高齢者と子どもたちの交流を通じて、入居者にとっては症状の進行を予防、子どもたちにとっては高齢者と触れ合うことであたたかい心を育てたい」と語っていました。



代表取締役  
黒澤 豊さん

子ども、高齢者、障がい者がお互いを必要とする場、昔の大家族のような施設を目指しています。

ピアノがあるホールは「地域交流サロン」として解放しています。あらゆる年代の方が集うあたたかい場でありたいと思います。

### ■産直自販機マルシェ



グループホームの前に設置されている「産直自販機マルシェ」。

北上市内外の障がい者支援施設のお菓子や、盛岡の有名珈琲店のドリップコーヒー、花巻の専門店の冷凍ハンバーグなど、他にはないユニークな品揃えが魅力です。

商品取り出し口の下部にはQRコードがあり、読み取ると、会社のHPにつながります。

「若い子たちにポジティブに『福祉』に気付いてほしい。福祉に興味を持ってもらうための一歩です」と話す黒澤さん。

福祉業界の垣根を越え、人との出会いを大切にしてきた黒澤さん。

自販機を通して、福祉の敷居を低くしながら、様々な事業者と地域を結び付けていきたいという想いが伝わってきます。

黒澤さんは「障がい者支援施設で働く方々の工賃アップにつなげたい。それから、商品を気に入れば、次はお店に行ってみよう」と来店をきっかけに「なれば」と語っていました。

企業情報

社名：株式会社connect

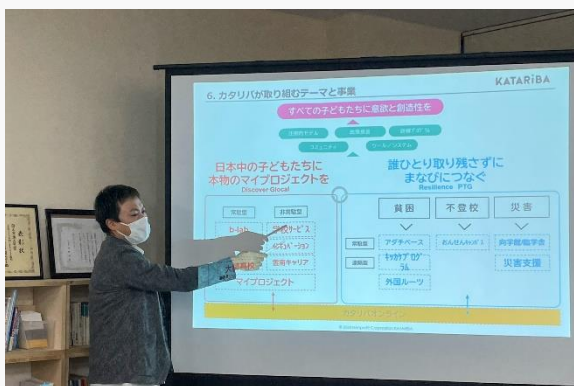
所在地：北上市村崎野20-64-3

業種：医療・福祉

## まちスタ塾 実施報告①

# これからの多様な学びの あり方を共有する勉強会 ～カタリバの取り組みから学ぶ～

- 日時 2月14日(火) 17:15～18:45
- 会場 市民団体活動ルーム
- 講師 認定NPO法人カタリバ  
いわてNPO-NETサポート理事  
渡邊 洸 氏



社会の変化に応じて様々な学びの場と居場所を提供する教育活動に取り組んでいます。

すべての10代が意欲と創造性を持ち、未来を自らつくりだす力を育める社会を目指して活動している認定NPO法人カタリバ。

渡邊 洸 さん(北上市出身)を講師にお招きし、その活動について学びました。

2001年に設立されたカタリバは、中高生にとって、親や教師でもない、友だちでもない、少し年上の先輩などの「ナナメの関係」を大切に活動し、現在では10を超えるプロジェクトに取り組んでいます。

参加者からは「全国高校生マイプロジェクト」、「みんなのルールメイキングプロジェクト」、「オンライン不登校支援プログラム」など、それぞれがもっと詳しく知りたい取り組みについての質問がたくさんされました。

## まちスタ塾 実施報告②

# ハマる、まちづくり。 ～人が減るからこそ豊かになる地域社会のつくり方～

- 日時 2月21日(火) 18:00～20:00
- 会場 市民団体活動ルーム
- 講師 NPO法人SET  
小林 敬志 氏  
石渡 博之 氏



個人の感情や思いを出発点に対話を進めていきます。

震災後から陸前高田市広田町で地域に根付きながら町民の方と一緒にまちづくりを進めてきたNPO法人SET。

今回の講座では、そのSETのこれまでの活動について学ぶとともに、この10年間でSETが進めてきたまちづくりのエッセンスをもとにした「やりたい」を「できた」に変えるワークショップを体験しました。

2グループに分かれた参加者は、講師の小林さんと石渡さんを交え「私たちが創り出したい理想の北上市とは？」というテーマでグループワークを実施。それぞれが考える理想の北上市の姿について共有するとともに、市の魅力や課題の洗い出し、整理をしながら理想に近づくためのアクションを考えました。